

コリントの信徒への手紙二 5 章 1 節の示す意味について（自問自答）

「わたしたちの地上の住みかである幕屋が滅びても、神によって建物が備えられていることを、わたしたちは知っています。人の手で造られたものではない天にある永遠の住みかです。」（新共同訳聖書コリントの信徒への手紙二 5 章 1 節）

上記聖句の「地上の住みかである幕屋」とは下記 **NET BIBLE** の説明の通り、パウロは、比喩的にわたしたちの肉体のことをこのように表しています。したがって、「神によって建物が備えられている・・・人の手で造られたものではない天にある永遠の住みか」は当然ながら、復活の体のことを意味しているものと思われます。

**The expression *the tent we live in* refers to "our earthly house, our body." Paul uses the metaphor of the physical body as a house or tent, the residence of the immaterial part of a person. (NET BIBLE)**